

第1回 島田市高齢者保健福祉計画等策定委員会 会議要録

日 時 令和5年7月20日(木)午後7時00分から午後8時00分まで

会 場 島田市保健福祉センター 研修室

出席者 <委員>

1	学識経験者	山城 厚生 (委員長)
2	島田市医師会	松永 和彦
3	島田歯科医師会	坂田 旬
4	島田薬剤師会	村松 義文
5	静岡県理学療法士会	小原 智永
6	島田市保健委員協議会	深井 朱実
7	島田市自治会連合会	渡邊 良和 (欠席)
8	島田市民生委員・児童委員協議会	長野 恭子 (副委員長)
9	島田市社会福祉協議会	杉本 優子
10	金谷地区社会福祉協議会	加藤 洋一
11	エミデルサロンふれあい	秋山 守男
12	ケアマネットしまだ	岩本 まなみ
13	特別養護老人ホーム本田山荘	櫻井 一範
14	一期一会トータルケア (株)	丹野 啓二
15	介護相談員	小野 勝彦
16	島田市老人クラブ連合会	児玉 伸昭

<事務局>

1	健康福祉部長	宮地 正枝
2	長寿介護課長	中山 和彦
3	包括ケア推進課長	大久保 勉
4	長寿介護課課長補佐	安達 義人
5	包括ケア推進課課長補佐	大庭 渡
6	長寿介護課保険給付係長	杉本 健二
7	長寿介護課認定指導係長	新聞 明美
8	包括ケア推進課地域支援係長	川本 実子
9	包括ケア推進課地域支援係長	米澤 美晴
10	長寿介護課主事	秋山 美保子
11	長寿介護課主事	小長谷 剛
12	(株)サーベイリサーチセンター課長	田原 歩

1 開会

2 委嘱状の交付

- ・あらかじめ資料と併せて委嘱状を配布した。

3 委員及び事務局職員紹介

- ・委員名簿と席次表にて紹介に代えた。

4 委員長・副委員長の選任

- ・委員長には山城委員を、副委員長には長野委員を選任した。

5 委員長あいさつ

- ・社会福祉協議会と静岡福祉大学に関係しているのですが、大学では学生の介護離れ、介護の現場では介護人材不足というのが現状です。島田はどうするかということを真剣に考えないといけないと思っていますところですが。
- ・この会議では、これからの島田市の高齢者の保健福祉、介護の問題をどうするかという計画を立てますが、是非市民の高齢者の皆様に視点を置きましょう。市民の高齢者の視点、また私たちがいずれはサービスを受けていくという立場ですので、是非ともそのような視点で、島田ならではの計画を皆で立てることができれば良いと思います。

6 議事

(1) 計画策定の概要について

- ・事務局より資料1を説明

<質疑応答>

- ・なし

(2) アンケート調査結果報告について

- ・事務局より資料2を説明

<質疑応答>

委員長： 報告書の抜粋として御報告いただきました。御質問等ありましたら伺いたいと思います。お願いします。

委員： 先ほど委員長から、島田独自のものが需要ではないかという話がありましたが、私も本当にそう思います。岸田首相が「異次元の少子化対策」という言葉を使っていたのですが、まさに介護もそのとおりで、介護事業所はこのままでは本当にまずいと、どの事業所も思っています。アンケートの結果などを見ると、在宅サービスを望んでいるけれども、在宅サービスを提供するためには人が必要で、それを担ってくれる人がいるのかを真剣に考えていかなければならない状況です。

介護の理想はどの事業所も掲げていて、どこも粗方同じ、認知症に対するケアや介護技術だと思います。ただ、それが理想で終わってしまうような現状です。どうしたら島田市の介護事業所で人が働いてくれるのか。今後在宅サービスや施設サービスを整えていくうえでも、人がいないと絵に描いた餅になってしまいます。人材をどう育成し、どう島田市に来ていただくかということに尽きると思っています。

委員長：ありがとうございます。介護事業を提供なさっている立場からご意見をいただきました。この調査結果について、数値的な、量的な点でどう考えるかも大事なことです。もっと現実的な、現場的な、事例的なことも考えていきたいと思えます。認知症など色々関心があることは確かなのですが、感染症関連の設問が入っていませんでしたので、数字ではなく高齢者の医療の現場について、何かあればお願いします。

委員：終末医療について少し話をさせていただきます。私たちは寝たきりの高齢者に定期的に往診を行っています。「リビング・ウィル」とありますが、最近は「リビング・ウィル」よりも「人生会議」が中心になってきています。リビング・ウィルとは、今後自分が亡くなったときはこうしてくれと意思表示をするのですが、実際には家族が知らないことも多々あります。ある方の場合、本人は終末期になったらそのまま放っておいてと言うのですが、亡くなりそうになると家の人は慌てて救急車を呼んでしまい、ご本人が亡くなっていても総合病院に連れていくことになる。そうになったときにリビング・ウィルというのは本当に生きているのかということ、最近は人生会議が中心になりつつあります。人生会議というのは、本人のリビング・ウィル、主治医、介護者、家族の四者が話し合っ、最終的にどうしたら良いかある程度の方向性を出しておきます。そうすると、不意のときに迷わずに行動できます。終末期が近い方には、ご家族と話しながら必ず意思疎通を図るようにしています。ただ、最近は独居老人が非常に多く、どこにも行きたくない、施設も入りたくないというのも一つの問題かと思っています。

委員長：貴重なお話をありがとうございました。医療や介護に直結するところです。他にいかがですか。それぞれのお立場、それぞれの視点で、ここには載っていないことでも結構です。

委員：静岡県社会福祉協議会の人材センターから、島田第一中学校、島田第二中学校で、総合学習の講師をしてほしいと依頼を受けて、中学生を相手に1時間の講義をさせていただきました。「介護の魅力発見セミナー」という題名で、中学生に対して福祉・介護のアピールというよりは、どういう仕事でどういうやりがいがあるのか話をしたのですが、非常に真剣に聞いてくださいました。動けない方をどうやったら動かせるかということをやってみたら、率先してやってくださり、非常に嬉しかったです。4年後、8年後、将来どこかで職業を考えたとき、その授業で人を支えることを仕事にしても良いかなという人が一人でも多く出ればと授業をさせてもらいました。介護の現場としても、在宅サービスとしても、関係者が次世代を担う子どもたちにもっと発信し、市を上げて地道な活動に取り組み、一人でも多くの子ど

もに興味を持ってもらうことが大事なのではないかと思います。2040年の話が出ていますが、まさにその世代の方々が現役世代になっていくのですから、1回で終わってしまうのではなく、色々な人が入れ替わり立ち代わり福祉介護の魅力を次世代の子どもたちに伝えていかないといけないと思います。また、せっかく色々な職種で集まっていますので、島田市独自に取り組んでいければと思っています。

委員長： ありがとうございます。福祉教育的な学生さんたちとのやりとりの話でした。福祉人材をいかに養成していくかは非常に大きな課題だと思います。計画にどうまとめしていくか、是非また皆さんにご意見をいただきたいです。

委員： アンケートの中で「高齢者あんしんセンターの認知」という問いがあります。ボランティアになって高齢者あんしんセンターによく出入りしますが、非常にノウハウを持っています。高齢者あんしんセンターの認知度が62%となっており、「役割を知っている」25.3%、「名前を聞いたことがあるが、役割までは知らない」37.6%、合わせて62.9%ということですが、私はやはり25.3%を重視したいです。しまトレや、窓口の相談をやっていただいて、本当にすごいノウハウを持っていると思います。自分が困ったときには高齢者あんしんセンターへ相談に行けばきっと助けてくれると感じています。私は25.3%をどう上げていくかが重要だと思います。

また、担い手不足が施設等であると話がありました。ボランティアもまったく同じ、担い手不足です。新しい人がなかなか入ってきません。色々事情があると思います。ボランティアの共助の部分についても同じような実情があるということをお報告しました。

委員長： ありがとうございます。先ほどは職業としての介護職ということで話が出たのですが、今の話は地域のボランティアの大変な状況の話でした。

委員： なかなか介護に関わる機会はないのですが、リビング・ウイルはまだ認知が少ないのかなという印象があります。終末期医療なので話しづらかったり、患者さんに勧めるのは少し難しいのかなというのは日ごろ感じていますし、周知するにしても話しやすい環境ではないと思っています。例えば要介護を受けたら、何歳以上になったら、など、強制はできないと思いますが、市で基準を設けると話しやすい環境ができるのではないのでしょうか。少し検討していただくとありがたいです。

委員長： ありがとうございます。何歳でと言い切れないところもあるかもしれませんが、社会全体的に雰囲気をつくっていくことは大事かなと思います。ボランティアの問題、介護職の問題にもなると思います。どうやって生きていくかを考えるムードができていくと良いのかなと、話を聞いて思いました。

これからの会議のなかで、是非とも皆さんの現場の体験や状況を踏まえた御意見をいただきたいです。

(3) 策定スケジュールについて

・事務局より資料3を説明

<質疑応答>

- ・なし

7 閉会

- ・第2回策定委員会：令和5年9月14日（木）午後7時から
保健福祉センター研修室（3階）にて開催予定。